

【令和3年度 食育に関する県民の意識調査結果】

1. 調査目的

県民の食に関する考え方や現状を把握し、食育推進に資するため。

2. 調査時期

令和4年1月14日～1月28日

3. 調査対象

ながさきWEB県政アンケート全モニター 337名

4. 回答状況

回答者 292名 (回答率 86.6%)

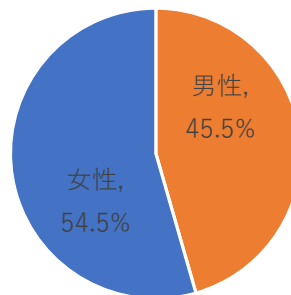
5. 調査担当課

県民生活環境部 食品安全・消費生活課

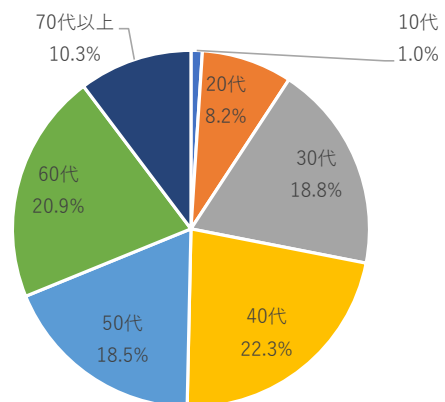
※端数処理のため、構成比が100%にならない場合があります。

◀回答者属性▶

性別	人数	構成比
男性	133	45.5%
女性	159	54.5%
総計	292	100.0%

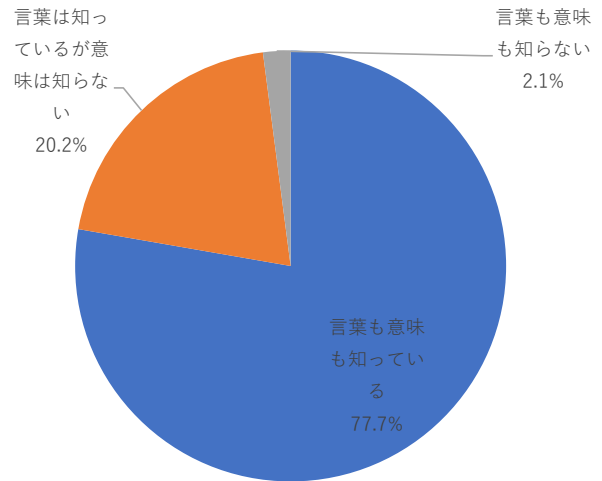


年齢	年齢	構成比
10代	3	1.0%
20代	24	8.2%
30代	55	18.8%
40代	65	22.3%
50代	54	18.5%
60代	61	20.9%
70代以上	30	10.3%
総計	292	100.0%



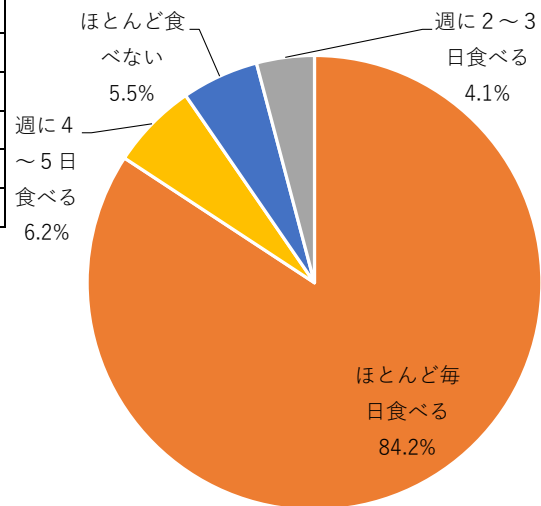
問1. あなたは、「食育」という言葉やその意味を知っていますか。あてはまるものを1つ選んでください。

	人数	構成比
言葉も意味も知っている	227	77.7%
言葉は知っているが意味は知らない	59	20.2%
言葉も意味も知らない	6	2.1%
総計	292	100.0%



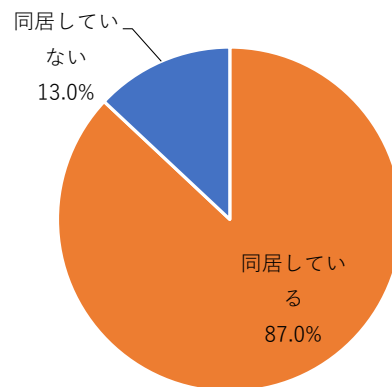
問2. あなたのふだんの朝食を食べる頻度について、あてはまるものを1つ選んでください。

	人数	構成比
ほとんど毎日食べる	246	84.2%
週に4～5日食べる	18	6.2%
ほとんど食べない	16	5.5%
週に2～3日食べる	12	4.1%
総計	292	100.0%



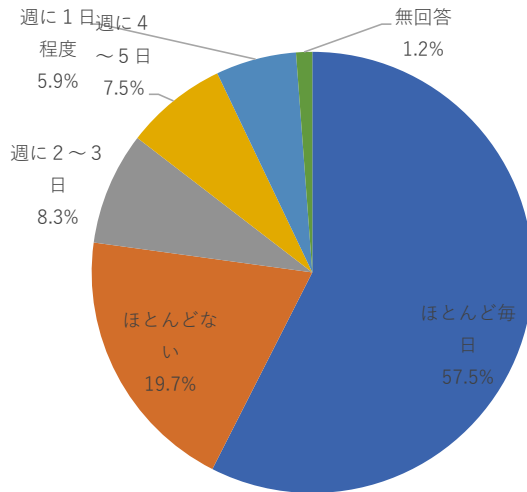
問3. あなたは、家族と同居していますか。「家族と同居していない」を選択した方は、問6へお進みください。

	人数	構成比
同居している	254	87.0%
同居していない	38	13.0%
総計	292	100.0%



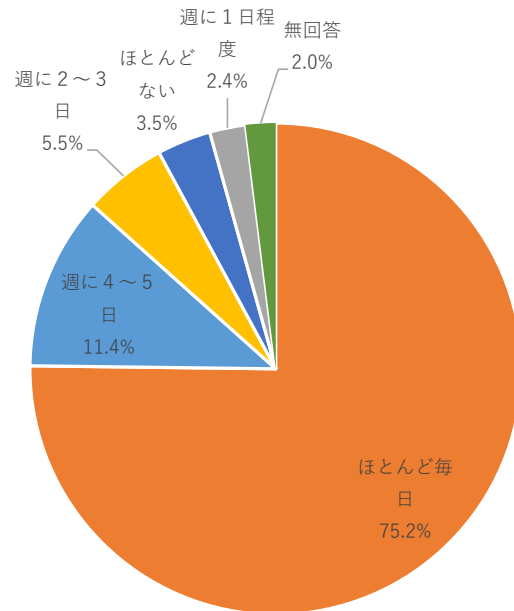
問4. 問3で「家族と同居している」を選択した方にお尋ねします。朝食を家族と一緒に食べることはどれくらいありますか。あてはまるものを1つ選んでください。

	回答者数	構成比
ほとんど毎日	146	57.5%
ほとんどない	50	19.7%
週に2～3日	21	8.3%
週に4～5日	19	7.5%
週に1日程度	15	5.9%
無回答	3	1.2%
総計	254	100.0%



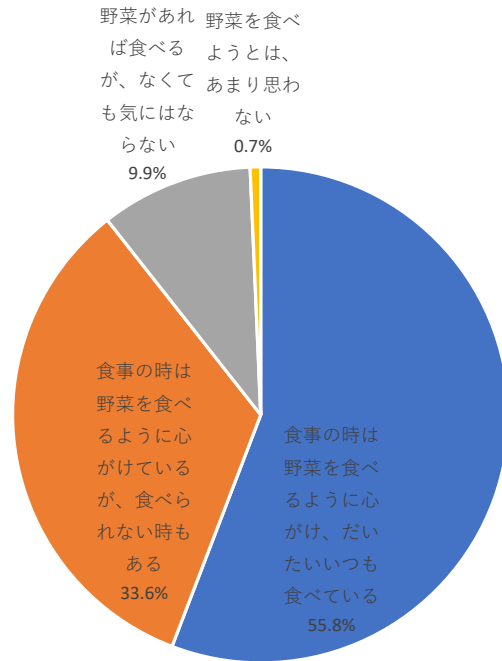
問5. 問3で「家族と同居している」を選択した方にお尋ねします。夕食を家族と一緒に食べることはどれくらいありますか。あてはまるものを1つ選んでください。

	回答者数	構成比
ほとんど毎日	191	75.2%
週に4～5日	29	11.4%
週に2～3日	14	5.5%
ほとんどない	9	3.5%
週に1日程度	6	2.4%
無回答	5	2.0%
総計	254	100.0%



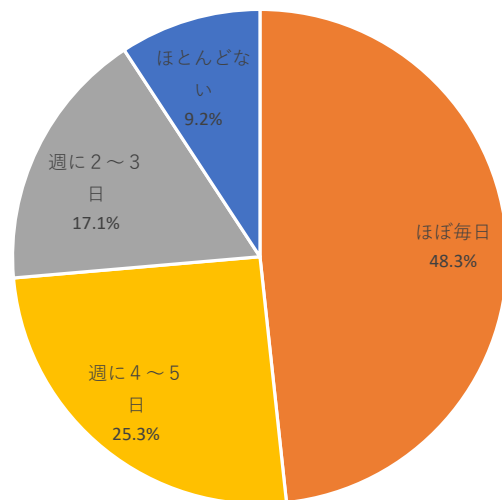
問6. あなたのふだんの野菜（生、調理したもの、ジュースなど形態は問わない）の摂取に対する考えについて、もっとも近いものを1つ選んでください。

	回答者数	構成比
食事の時は野菜を食べるように心がけ、だいたいいつも食べている	163	55.8%
食事の時は野菜を食べるように心がけているが、食べられない時もある	98	33.6%
野菜があれば食べるが、なくても気にはならない	29	9.9%
野菜を食べようとは、あまり思わない	2	0.7%
総計	292	100.0%



問7. 主食（ごはん・パン・麺など）・主菜（肉・魚・卵・大豆製品などを使ったメインの料理）・副菜（野菜・きのこ・いも・海藻などを使った小鉢・小皿の料理）を3つそろえて食べることが1日に2回以上あるのは、週に何日ありますか。あてはまるものを1つ選んでください。

	回答者数	構成比
ほぼ毎日	141	48.3%
週に4～5日	74	25.3%
週に2～3日	50	17.1%
ほとんどない	27	9.2%
総計	292	100.0%



問8. 食育について、どのようなことに関心がありますか。あてはまるものをすべて選んでください。

	集計	割合※
1.栄養バランスのよい食事例	212	72.6%
2.料理のレシピや技術	101	34.6%
3.食品の安全に関すること	154	52.7%
4.健康食品	57	19.5%
5.食事のマナーや挨拶	82	28.1%
6.地元の特産食材や郷土料理	129	44.2%
7.食料自給率の低下	73	25.0%
8.食品廃棄物の増加	131	44.9%
9. 特に関心はない	9	3.1%
10.その他	7	2.4%

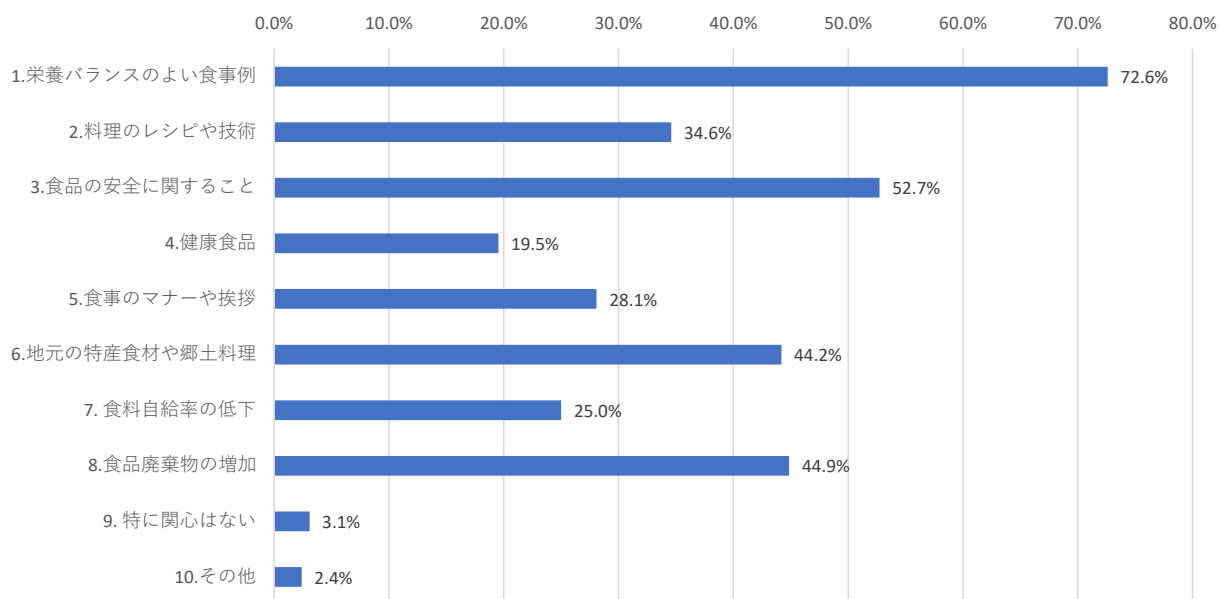
回答対象者292人

※回答対象者に対する回答数の割合

〈10.その他意見〉

- ・食品添加物の安全性について詳しく知りたい
- ・一緒にご飯を食べる。家族のコミュニケーションの場だと考える。
- ・我が国はもっと自給率を上げるべき
- ・子ども食堂などによる支援
- ・牛豚鳥などの命をいただく行為
- ・生産工程を知る
- ・県産品だと少しは安心

(食に関して興味があること)



問9. 食品の安全について「不安」があるとするば、どのようなことに対してですか。あてはまるものをすべて選んでください。

	集計	割合※
1.輸入食品	168	57.5%
2.残留農薬	187	64.0%
3.環境からの汚染化学物質	143	49.0%
4.食品添加物	196	67.1%
5.食品表示	65	22.3%
6.食中毒	124	42.5%
7.食中毒,遺伝子組換え食品・ゲノム編集食品	46	15.8%
8.健康食品	26	8.9%
9.食物アレルギー	66	22.6%
10.放射性物質	83	28.4%
11.特に不安はない	14	4.8%
12.その他	4	1.4%

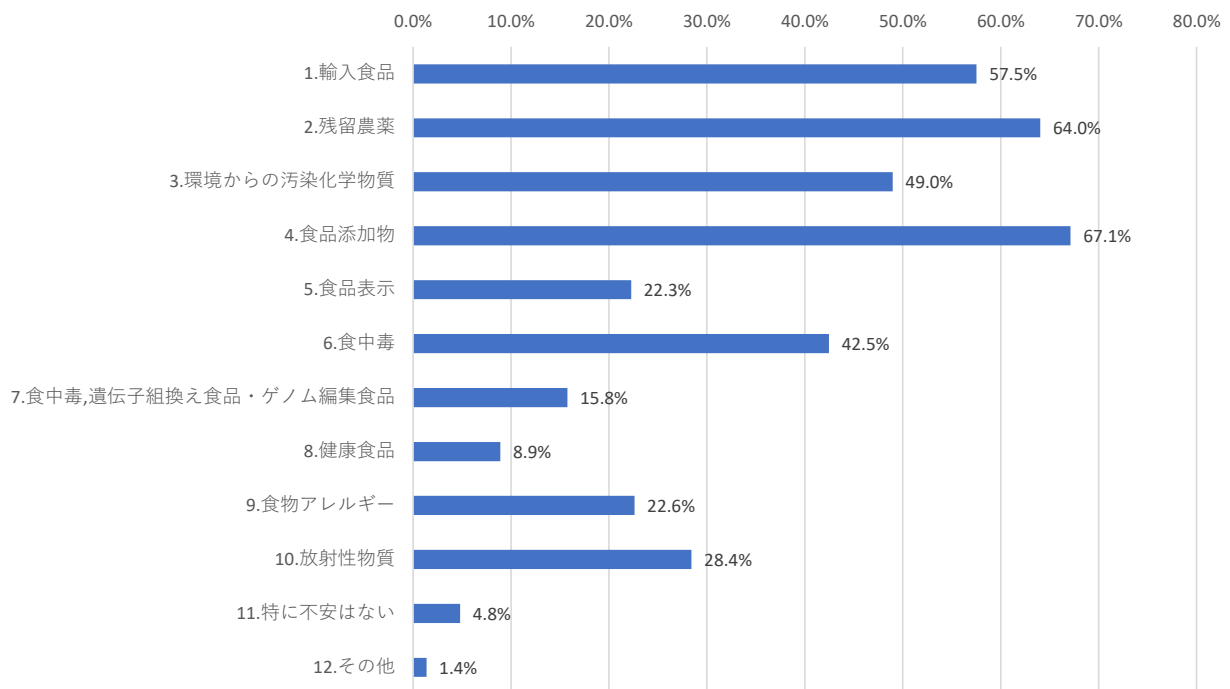
回答対象者292人

※回答対象者に対する回答数の割合

〈12.その他意見〉

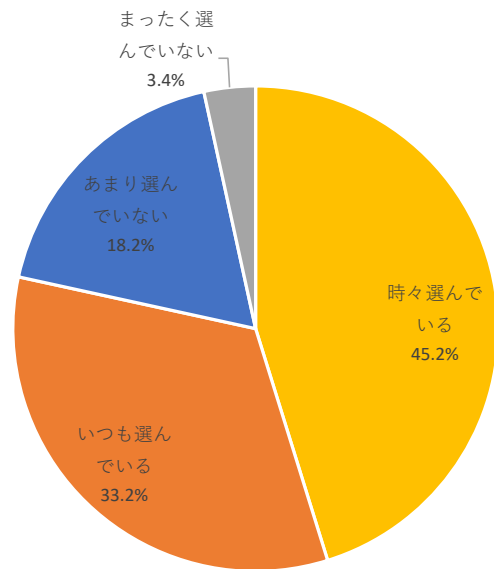
- ・産地などの食品偽装
- ・多くの食料を外国に依存している。
政策的に農業政策を見直すべき
- ・加工品の製造過程（衛生面）など

(食の安全に関する不安)



問10. あなたは、産地や生産者を意識して農林水産物・食品を選んでいますか。あてはまるものを1つ選んでください。

	回答者数	構成比
時々選んでいる	132	45.2%
いつも選んでいる	97	33.2%
あまり選んでいない	53	18.2%
まったく選んでいない	10	3.4%
総計	292	100.0%



問11. 食に関する情報の入手方法について得たことがあるものをすべて選んでください。

	集計	構成比
1.新聞・雑誌	174	59.6%
2.本	110	37.7%
3.テレビ	197	67.5%
4.ラジオ	47	16.1%
5.インターネット上のニュースサイト	164	56.2%
6.YouTube等の動画サイト	44	15.1%
7.ブログ、SNS	60	20.5%
8.生産者や食品企業・販売業者のウェブサイトや広報物	71	24.3%
9.行政機関のウェブサイトや広報物	68	23.3%
10.家族とのやりとり	83	28.4%
11.ネット上を含めた友人、知人とのやりとり	40	13.7%
12. 同僚とのやりとり	31	10.6%
13.町中（電車等）の広告	13	4.5%
14イベントやシンポジウム	25	8.6%
15.長崎県食品安全・消費生活課のホームページ	12	4.1%
16.スーパーマーケットなど食品の購入場所	107	36.6%
17.びわ太郎食育通信（長崎県食品安全・消費生活課発行）	2	0.7%
18.その他	6	2.1%

※回答対象者に対する回答数の割合

〈18.その他の意見〉

- ・クリニック
- ・教育機関(幼稚園、小学校)からのプリント
- ・長崎市食生活改善推進
- ・スーパーの広報物

回答対象者292人

(情報入手先)

